

平成26年度事業報告書

1. 事業概要

1) 基本方針

公益財団法人那須塩原市農業公社は、栃木県那須塩原市において農地利用集積円滑化事業その他担い手の確保・育成等農業構造の改善に関する事業を行い、農業の生産及び販売基盤を強化し、農業の振興及び消費者への食の安定供給を図り、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

- (1) 農地利用集積円滑化事業
- (2) 農業者研修育成事業
- (3) 認定農業者育成事業
- (4) 農林業施設の管理運営事業
- (5) 都市農村交流促進事業
- (6) 農業情報の収集、分析及び提供事業
- (7) 地域農産物の研究開発及び商品化事業
- (8) シルバーファーマー事業（無料職業紹介事業含む）
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

2) 事業実績

(1) 農地利用集積円滑化事業【公1-1】

後継者不在により農業経営の維持が困難な高齢者の農家や規模縮小を図る兼業農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から受ける農地の有効利用についての相談に応じる一方、農業経営の規模拡大に取り組もうとする認定農業者をはじめとする地域農業の担い手から受ける農地集積についての相談に対して、農地利用集積円滑化団体として賃貸借や売買といった農地の利用集積方法についてのアドバイスをを行い、具体的な利用権設定および所有権移転への方向へ導き、農地の面的集積および流動化の推進に努めた。

また、今年度の新たな取り組みとして、公益財団法人栃木県農業振興公社に設置された農地中間管理機構が実施する農地の貸借事業について、地域の実情に精通している当公社が業務の一部を受託し、相談窓口の開設、機構集積協力金に絡む農地の貸付け、公募による農地の借受け希望者の受付等の業務を行った。

加えて、農地中間管理事業の促進を目的に7月から推進員1名を雇用し、事業内容や制度の活用を周知するほか、農地の出し手や借り受け希望者の積極的な掘り起しを行った。

○合同受付・相談会開催日 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

		26.4月	5月	6月	7月	8月	9月
利 用 権	黒 磯	4/2	5/7	6/3	7/2	—	9/3
	西那須野	—	5/8	—	—	—	9/4
	塩 原	4/3	—	—	7/3	—	—

		10月	11月	12月	27.1月	2月	3月
利 用 権	黒磯	10/6	11/6	12/2	1/6	2/4	3/4
	西那須野	10/9	11/7	12/3	1/9	2/3	3/5
	塩原	—	11/7	12/3	1/9	—	—

		26.4月	5月	6月	7月	8月	9月
所有権移転		4/24	—	6/24	7/24	—	9/25
		10月	11月	12月	27.1月	2月	3月
		10/20	11/21	12/19	1/26	2/25	3/17

○26年度利用権設定等実績

期末貸借総ストック【(A) - (B) + (C)】 (平成27年3月31日現在)

	件数	面積	田	畑
期末貸借総ストック	1,641件	1,534ha	1,156ha	378ha
前年度(比較%)	1,533件(107.0%)	1,442ha(106.4%)	1,079ha(107.1%)	363ha(104.1%)

(A) 期首貸借総ストック (平成26年4月1日現在)

	件数	面積	田	畑
期首貸借総ストック	1,533件	1,442ha	1,079ha	363ha

(B) 当年度内満了、解約

	件数	面積	田	畑
満了、解約	217件	220ha	169ha	51ha
前年度(比較%)	266件(81.6%)	239ha(92.1%)	193ha(87.6%)	46ha(110.9%)

(C) 当年度内新規設定、再設定

		件数	面積	田	畑
新規設定		116件	106ha	83ha	23ha
再設定		209件	206ha	163ha	43ha
前年度 (比較%)	新規	126件(92.1%)	119ha(89.1%)	94ha(88.3%)	25ha(92.0%)
	再設定	215件(97.2%)	187ha(110.2%)	145ha(112.4%)	42ha(102.4%)

① 地所有者代理事業【公1-1】

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から貸付先を特定しない旨の白紙委任を受け、委任契約の締結を実施した。

これに合わせ、農地所有者を代理して公社がその委任内容の受け手として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で賃貸借契約を実施した。

なお、代理委任契約締結件数及び面積が前年度に比べ減少しているのは、中間管理機構を通じた新規の賃借が増えたことが挙げられる。

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

	件数	面積
代理委任契約締結	229 件	235ha
前年度(比較%)	250 件(91.6%)	251ha(93.6%)

② 地売買等事業【公 1-1】

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家の要請を受けて、農地の借り受けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

これに合わせて、その農地の新たな貸し付け先として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で貸し付けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

また、賃借料においては、借り手からの口座振替および貸し手への口座振込に係る出納事務を年間を通じて適正に処理を行った。

なお、借入・貸付件数及び面積が前年度に比べ減少しているのは、中間管理機構を通じた新規の賃借が増えたことが挙げられる。

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

		所有者から借入	借り手に貸付
26 年度	件数	33 件	34 件
	面積	43ha	43ha
前年度 (比較%)	件数	46 件(71.7%)	45 件(75.6%)
	面積	55ha(78.2%)	55ha(78.2%)

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

	借り手から振替	所有者へ振込	賃借料
26 年度	224 件	227 件	42,629 千円
前年度(比較%)	213 件(105.2%)	220 件(103.2%)	41,398 千円(103.0%)

③ 農地中間管理事業【公 1-1】

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理機構を通じた農地の貸借事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家からの農地の貸し付けに関する相談等に応じ、農地中間管理機構を通じた農地の貸付けや機構集積協力金の活用について支援を行った。

これに合せて、自身の農業経営の規模拡大を希望する認定農業者や新規就農者等からの農地の借り受けに関する相談に応じ、農地中間管理機構が公募する農地の借受希望者としての申請や、農地の出し手とのマッチング等の支援を行った。

加えて、事業推進員が各農家や農業委員及び地区推進員を訪問し、事業の普及活動や地域の農地の移動状況等の情報収集を行ったほか、人・農地プランに基づいて農地の出し手や借り受け希望者の積極的な掘り起しを行った。

(平成27年3月31日現在)

	件数	面積	経営転換協力金(件数)	耕作者集積協力金(件数)
機構への貸付状況	29件	34ha	5,400千円(10件)	1,772千円(9件)

(注) 経営転換協力金及び耕作者集積協力金の19件は、今年度内に農地所有者へ支払われたもの。残り10件は、平成27年度に支払われる予定。

(平成27年3月31日現在)

	公募者数	那須塩原市	市外
公募申請状況	184件	172件	12件

【推進員活動状況】

- ◆実施期間 平成26年7月1日 ~ 平成27年3月31日
- ◆推進員数 1名
- ◆活動日数 延べ 93日(495時間)
- ◆活動距離 延べ 3,841km
- ◆訪問者数 下表のとおり

	農地の出し手 訪問者数(回数)	地域の担い手 訪問者数(回数)	農業委員他 訪問者数(回数)
黒磯	1(10)	8(14)	7(7)
鍋掛	2(11)	12(20)	3(3)
東那須野	8(30)	26(51)	3(3)
高林	1(3)	21(25)	8(10)
西那須野	5(6)	13(15)	3(4)
狩野	12(32)	3(7)	11(18)
箒根	4(6)	10(10)	19(24)
塩原	0(0)	0(0)	0(0)
計	33(98)	93(142)	54(69)

(注1)

農地の出し手… 農地の貸し付け希望者(人・農地プラン登載者も含む)
 地域の担い手… 認定農業者、中心経営体、新規就農者
 農業委員他… 農業委員、地区推進員

(注2)

訪問者数に対し訪問回数が多いのは、1名のところへ複数回訪問しているため。

③ 地売買等受託事業（特例事業）【公1-1】

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理事業の特例事業として農用地のあっせんにかかる事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家や離農する農家、又は相続等により農地を所有している非農家からの農地売却に関する相談等に応じ、対象農地の現況確認や買い受け予定者との調整を行った。

これらの調整結果について、県農業公社へ情報提供を行い、農地売却を希望する農家への支援を行った。

また、自身の農業経営改善計画の一策として保有する農地の規模拡大を目指す農業者の農地の買い受けに関する相談等に応じ、適宜アドバイスや情報提供を行った。

(平成27年3月31日現在)

	件数	面積	田	畑
所有者から県公社へ売渡	14件	11.1ha	6.8ha	4.3ha
前年度(比較%)	16件(87.5%)	13.5ha(82.2%)	9.9ha(68.7%)	3.6ha(119.4%)
県公社から担い手へ売渡	13件	10.6ha	8.3ha	4.3ha
前年度(比較%)	14件(92.9%)	11.2ha(94.6%)	6.7ha(123.9%)	4.5ha(95.6%)

(2) 農業者研修育成事業【公1-2】

農業・農村の活性化を図るために、地域の中心となる農業担い手の積極的な農業経営の参画や魅力ある農業経営の確立が重要視される中、これらの対応策として次の事業を行った。

① 農業経営改善講演会の開催【公1-2】

経営管理能力の向上や農業農村の活性化、農業の持続的発展を図ることを目的に、地域農業者に講演会、講習会、研修会等の受講の機会を与え、積極的な参加促進を図った。また、今年度から始まった経営所得対策の見直しや農地中間管理機構の創設等の新たな農業政策の内容や、米の概算金の暴落や配合飼料価格の高騰等による厳しい農業情勢への対応策について、本市の農業者が最新の情報を取得し経営管理能力向上の一助となるよう、有識者を招いて農業経営改善講演会を開催した。

実施日	内 容	参加人数
26.12.8	農業経営改善講演会（場所：いきいきふれあいセンター） ※農政改革下における地域農業の課題～地域営農システムの確立を目指して	97名

② 農業者海外派遣研修事業【公1-2】

次の時代を担う青年農業者を海外に派遣し、海外先進農業事情等について調査研究を行うことにより、今後見込まれる農産物等の貿易自由化に向けた生産性の効率化や農業の大規模化等国際化の進展に対応できる優れた担い手を育成するための海外研修事業を行った。

県農業公社主催の短期研修については、参加者3名がヨーロッパ3ヶ国の様々な農業経営のあり方を視察

し、大規模農業経営、減農薬や有機栽培への取り組み、食の安全性へのこだわり、生産・加工・販売の確立等について学んだ。帰国後は、市長への報告を始め解団式において研修内容の発表を行ったほか、12月には、那須野が原青少年クラブ協議会主催の実績意見発表会において報告を行った。今後においては地域農業の発展のために活発な活動が期待できるものとする。

また、公益社団法人国際農業者交流協会主催の長期研修については、参加者1名が、3月に行われた大使館面接、市長への表敬訪問、出発時講習を経て、研修先のアメリカ合衆国へ向けて3月20日に本国を出国した。研修期間は約1年6ヶ月におよび、酪農を中心とした大規模農業経営と最新技術のほか研修先の文化や風習、語学なども学ぶ予定である。

研修期間	内 容	参加者数
26.9.29～10.8	短期海外派遣研修（イタリア、オランダ、フランス）	3名
27.3.20～28.10.4	長期海外派遣研修（アメリカ合衆国）	1名

(3) 認定農業者育成事業【公1-3】

経営感覚に優れ、効率的かつ安定的農業経営を目指す中核的農業経営体を育成するため、農業関係機関と連携を密にしながら、認定農業者の経営改善相談等育成・支援と併せて、新規に認定農業者の資格取得を希望する農業者に対して、経営改善計画作成の支援を実施した。

加えて、認定農業者への各種情報の周知手段として、認定農業者の資格を有する者で認定農業者の会を組織化しかつその強化を図り、会が中心となって講演会や講習会および研修会等を開催し、認定農業者の資質の向上に努めた。なお、会の事務局を公社が担うことで会の運営全般について支援に当たった。

① 農業経営改善計画書の作成に係る相談及び審査について

認定農業者の認定期間満了に伴う再認定を希望する農業者や新規認定を希望する農業者に対して、農業経営改善計画書の作成指導会を毎月1回実施し、認定農業者の確保および新規認定農業者の発掘を図った。

提出のあった農業経営改善計画書については、関係機関で組織する審査会を毎月1回開催し、計画書の内容について審議し、審議の結果認定相当となったものについては、那須塩原市長へ進達を行った。

加えて、経営改善計画後押しを目的に平成25年に国が策定した新たな経営指標については、認定日から3年目と5年目を迎えた認定農業者について取組状況の確認を行ったほか、直近に認定期間が満了となる者を対象にその取組方法について農林水産省関東農政局の職員を招いて講習会を開催し、今後の農業経営改善計画に指標を十分に活用する旨周知を図った。

なお、認定農業者数が年度当初の565人から601人に増加した理由については、再認定の手続きが遅れて認定期間が切れてしまった者への資格取得の促進活動や、認定農業者等に限定した国の施策や制度が実施されたこと（稲作農業の体質強化緊急対策事業）や、来年度に実施されること（畑作物の直接支払交付金、米・畑作物の収入減少影響緩和対策）を見据えての希望者が増加したことが原因に挙げられる。

○認定農業者数の推移

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	26.4月	5月	6月	7月	8月	9月
認定農業者数	556	553	555	556	561	560
(当月認定者数)	(13)	(12)	(11)	(9)	(8)	(6)
	10月	11月	12月	27.1月	2月	3月
認定農業者数	566	564	564	571	573	601
(当月認定者数)	(13)	(8)	(11)	(11)	(11)	(51)

○認定農業者数(地区別)

(平成27年3月31日現在)

	黒 磯	西那須野	塩 原	合 計
27年3月末	379	129	93	601
26年度内認定(内新規)	98(49)	36(17)	30(17)	164(83)
26年3月末(比較%)	357(106.2%)	124(104.0%)	84(110.7%)	565(106.4%)

○新たな経営指標への取り組み状況

- ・認定3年目(平成23年度認定)3名 認定5年目(平成21年認定)10名
- ・農業経営改善講習会の開催

日時	内 容	参加者数
27.2.27	新たな農業経営指標への取り組み方法等 (場所:いきいきふれあいセンター)	12名

○集合指導会開催日

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	26.4月	5月	6月	7月	8月	9月
黒 磯	4/2	5/7	6/3	7/2	8/6	9/3
西那須野	4/3	5/8	6/4	7/3	—	9/4
塩 原	4/3	5/9	—	—	8/5	9/5
審査会	—	5/1,27	6/30	7/30	8/29	9/29
	10月	11月	12月	27.1月	2月	3月
黒 磯	10/6,7	11/6	12/2	1/6	2/4	3/3,4
西那須野	10/9	11/7	12/3	1/9	2/3	3/5
塩 原	10/9	—	12/3	1/9	2/5	3/5
審査会	10/28	11/27	12/24	1/26	2/24	3/26

②認定農業者の育成・支援、認定農業者の会の運営

認定農業者に有利となる各種施策や制度、農地情報等について逐次情報提供を行った。

また、認定農業者の資質向上や各種情報の周知手段を目的として組織する認定農業者の会の事務局を公社が担った。なお、支部を統合し会を一本化して2年目となる今年度については、昨年度の反省点を踏まえながら適宜役員会と班長会議を開催し、新たな事業の実施検討及び意見交換を中心に会の円滑な運営に努めたほか、役員改選等次年度へ向けた新体制の構築を行った。

全体事業としては、会員の資質向上を目的とした活動として、兵庫県で開催された第15回全国農業担い手サミットへの参加や、県内の複合経営やIT技術を取り入れた先進地農家への視察研修会を開催した。

また、地域事業としては、農業理解及び地域貢献を目的とした活動として、農産物のPRイベントの開催や小水力発電施設及び揚水ダムの視察研修会、農業試験場や6次産業化に取り組む農家の視察研修等を開催した。

その他、当社が開催する農業経営改善に関する講演会や講習会、県北3市町の認定農業者の会で組織する那須地区認定農業者協議会主催の事業にも積極的な参加を図った。

○認定農業者の会研修・事業等

年月	実施内容
26.4	<ul style="list-style-type: none"> ・那須地区認定農業者協議会第1回役員会（14日／3名） ・第1回役員会（17日／14名）
26.6	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回班長会議（鍋掛10日、黒磯11日、東那須野13日、高林16日、西那須野・狩野17日、箒根18日） ・那須地区認定農業者協議会第2回役員会、視察研修会（20日／5名）
26.9	<ul style="list-style-type: none"> ・塩原地域事業／箒根地区（9日／11名） ※茂木町 石畑の棚田、道の駅視察研修会 ・第2回班長会議（西那須野・狩野12日）
26.10	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回班長会議（東那須野14日） ・西那須野地域事業／西那須野・狩野地区 ※くず米販売(16日／56名)、新米つかみどり(19日／10名) ・黒磯地域事業／東那須野地区（25日／9名） ※新米つかみどり・おにぎり提供
26.11	<ul style="list-style-type: none"> ・黒磯地域事業／東那須野地区（3日／9名）※新米無料提供 ・第2回役員会（5日／15名） ・第15回全国農業担い手サミット in ひょうご（13～14日／13名） ・那須地方農政講演会（19日／9名） ・栃木県農業担い手躍進大会（20日／9名）
26.12	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営改善講演会（8日／97名） ※農政改革下における地域農業の課題他 ・地域事業／鍋掛・高林・西那須野・狩野地区（9日／20名） ※太陽光・小水力発電施設、揚水ダム施設視察研修会 ・地域事業／黒磯地区（12日／10名） ※県農業試験場、6次産業農家(麦島農園)視察研修会

年月	実 施 内 容
27.1	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回役員会（16日／16名） ・那須地方農業者懇談会（23日／1名） ・次期役員選出地区会議（28日～31日）
27.2	<ul style="list-style-type: none"> ・役員選出地区会議（4日～16日） ・那須地区認定農業者協議会第2回役員会（10日／2名） ・先進地視察研修会（19日／34名） <ul style="list-style-type: none"> ※長谷川農場（足利市／複合経営）、舛田 愛氏（栃木市／トマト生産） ・農業経営改善講習会（27日／12名） <ul style="list-style-type: none"> ※新たな農業経営指標の取組方法等
27.3	<ul style="list-style-type: none"> ・次期役員選考会議（2日／20名、3日／8名） ・平成26年度決算監査、第4回役員会（6日／15名） ・那須地区認定農業者協議会第2回視察研修会（10日／5名） <ul style="list-style-type: none"> ※日本農林漁業トップリーダー発表会（東京大学） ・平成26年度定期総会（20日／96名） ・平成26年度那須地区認定農業者協議会定期総会（27日／5名）

(4) 農林業施設の管理運営事業【公2】【収1】

平成26年度「明治の森・黒磯」利用状況（※利用者数は推定、青木邸は実数である。）

	道の駅利用者数	利用者 前年比	売上高計		売上高 前年比	記念館	前年比
						青木邸有料入館数	
4月	35,550 人	116.6%	11,408,047	円	118.8%	744 人	118.7%
5月	45,820 人	105.0%	16,020,003	円	112.9%	1,424 人	116.2%
6月	37,325 人	91.5%	11,435,112	円	98.9%	689 人	88.0%
7月	47,850 人	102.9%	14,327,327	円	108.8%	1,033 人	134.5%
8月	65,570 人	105.9%	22,558,281	円	110.6%	2,021 人	133.1%
9月	55,415 人	119.4%	16,857,580	円	129.8%	1,093 人	127.8%
10月	50,410 人	113.9%	15,373,245	円	123.3%	1,061 人	96.4%
11月	42,800 人	105.8%	12,957,117	円	108.8%	951 人	138.8%
12月	28,215 人	94.5%	8,628,403	円	97.9%	201 人	88.5%
1月	21,345 人	107.7%	6,530,757	円	105.8%	191 人	98.5%
2月	21,900 人	143.9%	6,896,056	円	144.5%	212 人	102.9%
3月	31,170 人	120.1%	10,355,481	円	119.0%	405 人	107.1%
計	483,370 人	108.6%	153,347,409	円	113.8%	10,025 人	117.0%

①青木ふるさと物産センター管理運営事業【公2】

青木ふるさと物産センター指定管理者として、本市の農産加工・流通及び情報発信の拠点となる道の駅「明治の森・黒磯」の受託管理運営等を適切に行い、施設の機能を有効に活用しながら、地域農産物等の流通を促進した。

また、感謝祭や収穫祭といったイベントを実施し、農産物の消費拡大や安全・安心のPR等を行うとともに、市民への憩いの場を提供した。

加えて、地元の小学生や道の駅を訪れた子供たちに農作業を体験してもらい、農業や植物に対する興味を持つきっかけの場を提供した。

イベント内容

イベント名	開催日	主な内容	来客数(名)
春の感謝祭	4月13日	割引販売 堆肥の無料配布 鍋・牛乳の無料配布	2,550
夏の感謝祭	8月3日	野菜の割引販売 堆肥の無料配布 オカリナコンサート	2,930
道の駅まつり (マロニエプラザ)	8月23日	ごはん、パン、ジェラートの無料試食 牛乳の無料配布	12,000
野菜の日	8月31日	野菜の割引販売 牛乳の無料配布	3,050
道の駅まつり (りんどう湖ロイヤルホテル)	10月28日	市内特産品のPR販売	3,000
収穫祭	11月9日	割引販売 堆肥の無料配布 鍋の無料配布 新米プレゼント	3,150
クリスマスイベント	12月21日	ホットミルクの無料配布 卵のつかみ取り	1,560
初売り	1月4日	おしるこの無料配布 福袋販売 お楽しみ抽選会	1,180
バレンタインイベント	2月14日	チョコレートマシュマロの無料配布 じゃんけんイベント	980
ひな祭りイベント	3月1日	甘酒、ポップコーンの無料配布 ひし餅抽選会	1,160

※来客数については推定である。

その他の事業

	開催日	場 所	対 象	参加人数(名)
トマト収穫体験	6月30日	青木地区農家宅	青木小学校5・6年生	33
さつまいも収穫体験	10月31日	道の駅	青木小学校3・4年生	25
さつまいも掘れ掘れ大会	11月9日	道の駅	小学生以下の道の駅利用者	155

②青木ふるさと物産センターにおける収益事業【収1】

物産センター内の販売コーナーを使用し、市の特産品である牛乳、イチゴなどの仕入れ販売を行い、本市のPRや情報発信を行った。また、冬場の野菜不足解消のため商品の仕入れ販売、七夕・クリスマスツリー・つるし雛等季節の飾りつけをし利用者の確保に努めた。また、野菜や加工品生産者のPOPを売り場に設置

し、生産者の顔のわかる売り場を目指した。

本年度、物産センター内にアンテナショップスペースを設け、市内で製造された加工品や特産品の販売を行い、認知度を高め、市のPRや消費の拡大を図った。

ホームページやWiFi機能を活かし、現在の旬な商品の情報や那須塩原ブランド商品を紹介し、販売促進につなげた。

③道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、トイレ、駐車場など道の駅全体の良好な維持管理に努めた。また、ハンナガーデンに季節の花を植栽し、訪れる人へのやすらぎの場を提供した。

④とちぎ明治の森記念館維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、国の重要文化財に指定されている旧青木家那須別邸の適切な管理を行った。また、文化財防火デーに合わせ、黒磯那須消防組合と合同での消防訓練も実施し、利用者が安心して施設を利用できるように務めた。

(5) 都市農村交流促進事業【公1-4】

都市住民からの野菜等を栽培して自然に触れ合いたいという気運要請と市内の遊休農地を始めとする未利用農地の有効活用を図るべく、農地所有者の協力の下、農業に興味のある市民を対象にふれあい農園を開設し管理業務を行った。

利用者は、農業の魅力である自ら土に触れ、耕作し、収穫する喜びを直に体験することで農業への理解を深め、農地所有者においても利用者からの作付け方法を始め農業に係る相談に応じるなど、お互いに交流を図ることで消費者ニーズ等の把握、都市と農村との相互理解を深めた。

管理面においては、年間を通じて農園の利用状況について現地確認を行い、不良個所の整備、看板の設置、利用者からの苦情等への対応を図った。加えて空き区画への対応として、農園利用を促す記事を市広報や各戸回覧、公社のホームページを通じて幅広く周知し、利用率の向上に努めた。

年度末においては、次年度の準備として利用更新希望者の更新手続きや、空き区画対策として市広報及び各戸回覧により広く新規利用者の募集を図った。

また、新たな取り組みとして、首都圏企業の社員とその家族が本市を訪れて、農産物の収穫やバター作りなどの農業体験を行なうほか、地元農産物を使った料理を食すなど、都市住民が地元の農業者とのふれあいを通じて農業への理解を深める交流事業を開催した。

①ふれあい農園利用状況【公1-4】

(平成27年3月31日現在)

	黒 磯	西那須野	塩 原	合 計
農 園 箇 所	6	6	2	14
区 画 数	113	179	40	332
利用区画数	99	170	28.5	297.5
前年度(比較%)	93(106.5%)	168(101.2%)	33.5(85.1%)	294.5(101.0%)

※西三島農園(西那須野地区)… 今年度より新たな場所に移設し11区画を増設した。
 ※塩原地区の利用区画数の減少… 利用者の高齢化による利用の取り止め等が挙げられる。

②農業体験ツアー実績【公1-4】

日 時：平成26年10月25日(土)

内 容：バター作り体験・牛乳の試飲(ハーレー牧場)、農家レストランでの食事(鳥野日産直会)
 さつま芋収穫体験(市内埼玉圃場)、買い物(道の駅「明治の森・黒磯」)

参加者：19名

(6)農業情報の収集、分析、提供事業【公1】

新聞やインターネット等様々な媒体を通じてより広く農業関連の情報を収集、分析提供して農業経営の改善を推進した。

また、栃木県、那須塩原市、農業関係機関・団体との連携を密に行い、農用地や農業全般の情報、講演会、研修会開催周知の情報等を市の広報、チラシ等の配布を通じてより広く提供を行った。

加えて、昨今の情報化社会に対応すべく、公社独自のホームページにより広い情報発信を行うと共に、農地の賃貸借や認定農業者の申請に係る様式等もホームページから取得ができるよう整備し、利用者の利便性を図った。

加えて、公益を増進する公益法人として、高まる情報公開の必要性から定款、事業計画、正味財産増減予算書等の公開に努めた。

(7)地域特産物の研究開発及び商品化に関する事業【公1-6】

地域の資源を活用した特産品を開発するための調査研修を行い、農産物の付加価値を高め、農家所得の向上と農村の活性化を図るため次の事業を行なった。

①「自家製栽培大豆を加工しての味噌作り」への助成

那須塩原市内の認定農業者人見基義氏から、「自家製栽培大豆を加工しての味噌作り」研究・開発事業への申請書が提出され、助成を行った。

事業名	自家製栽培大豆を加工しての味噌作り
団体名	人見 基義
事業内容	「自家製栽培大豆を加工しての味噌作り」の研究・開発
実施期間	平成26年12月～平成27年3月
実施内容	講師との打合せ、味噌作りの研修会、加工所視察、味噌の仕込み

② 地元農産物及び農産物加工品を活用したギフト作りとして、道の駅「明治の森・黒磯」のお歳暮セットの開発・研究を行なった。

○販売実績

ギフト名	販売実績
青木ふるさとトマト鍋セット	73個
麦とろ雑煮セット	38個

- ③ ふるさと納税のお礼品として、1月より道の駅「明治の森・黒磯」季節の野菜詰め合わせセットの販売を行なった。

○販売実績

ギフト名	販売実績
季節の野菜詰め合わせセット	7個

(8) シルバーファーマー事業【公1-5】

①シルバーファーマー養成支援塾

平成24年度から当公社が市農務畜産課から委託を受け、農業に関心があり、労働意欲が旺盛な60歳前後の市民を対象に、農業ヘルパーとして農家が求める労働者を養成するためのシルバーファーマー養成支援塾を行なっている。塾生は、机上研修において農業全般に関する基礎知識を学び、実地研修において圃場で農業機械の操作や園芸作物の栽培を行い、農業者としての知識と技術の習得に努めた。

具体的な作業を経験するため、栽培農家での実地研修も行った。

実施期間	平成26年4月20日～平成26年12月7日			
受講者数	26名（男性24名 女性2名）			
研修場所	県農業試験場埼玉農場			
実施回数	20回（机上研修・圃場研修・実地研修）			
講師数	6名			
栽培作物	トマト、きゅうり、なす、にんじん、大根、白菜、ほうれん草			
実地研修	6/1	遅沢氏（西遅沢）圃場	なすの定植・誘引・支柱立て	26名参加
	8/9	小山氏（上塩原）圃場	大根の間引き・収穫・水洗い	20名参加
	10/19	益子氏（鍋掛）圃場	ブロッコリー畑の除草	23名参加
収穫祭	11/16	鳥野目オートキャンプ場にて、研修圃場で栽培した野菜を使用し交流会を行なった		

②シルバーファーマーの活用

シルバーファーマー養成支援塾を受講した第1期から第4期生の人材登録者と、シルバーファーマー活用申請のあった農家とのマッチングを行った。

農家とのマッチングを加速させ、シルバーファーマー人材活用を推進するため、3月1日より無料職業紹介事業の許可を厚生労働省から受け、事業を開始した。

(平成26年度)

シルバーファーマー養成支援塾修了生	115名	男性100名 女性15名
シルバーファーマー人材登録数	89名	男性75名 女性14名
シルバーファーマー活用登録数	7名	
マッチング件数	4件	
マッチング人数	4名	男性4名

(9) その他目的を達成するために必要な事業【法人会計】

適切な管理・運営の実施

- I 公益目的事業の適切な実施のため、公益財団法人那須塩原市農業公社規程・規則・要綱等に沿った適正な事務及び経理の処理に努めた。
- II 貸借対照表その他計算書類等の事務所への備付け・一般への供覧により情報開示の適正性を高めるよう努めた。
- III その他公益財団法人としての適正な事業運営に必要なことの対応に努めた。

【法人管理】

2. 評議員会に関する事項

区分	開催年月日・場所	付議（決議）事項	
1回	平成26年5月29日 いきいきふれあい センター会議室	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の選任について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成25年度事業の報告について
		議案第4号	公益財団法人那須塩原市農業公社決算の承認について
2回	平成26年6月27日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
3回	平成26年8月29日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成26年度事業計画一部変更の承認について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成26年度第1回補正予算の承認について
4回	平成26年11月22日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社定款の一部変更について
5回	平成27年3月10日 那須塩原市役所 303会議室	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成26年度第2回補正予算の承認について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成27年度事業計画書及び収支予算書等の承認について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の報酬及び勤務に関する規程の一部変更について

3. 理事会に関する事項

区分	開催年月日・場所	付議（決議）事項	
1回	平成26年5月12日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社定時評議員会（第6回評議員会）の開催について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成25年度事業報告について
		議案第4号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成25年度決算について
		議案第5号	定期提出書類（事業報告等）について
		議案第6号	字句修正に係る委任決議について
2回	平成26年5月29日 いきいきふれあい センター会議室	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社代表理事（理事長）の選定について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社業務執行理事（常務理事）の選定について

3回	平成26年6月24日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社第7回評議員会の開催について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
4回	平成26年7月1日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社代表理事(理事長)の選定について
5回	平成26年8月26日 いきいきふれあい センター会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社第8回評議員会の開催について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成26年度事業計画の一部変更について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成26年度第1回補正予算について
6回	平成26年11月11日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社第9回評議員会の開催について
7回	平成27年2月26日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社第10回評議員会の開催について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成26年度第2回補正予算について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成27年度事業計画書及び収支予算書等について
		議案第4号	定期提出書類(事業計画書等)について
		議案第5号	字句修正に係る委任決議について
		議案第6号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の報酬及び勤務に関する規程の一部改正について
		議案第7号	公益財団法人那須塩原市農業公社会計規程の全部改正について
		議案第8号	公益財団法人那須塩原市農業公社個人情報適正管理規程の制定について
		議案第9号	公益財団法人那須塩原市農業公社無料職業紹介事業の運営に関する規程の制定について

4. 登記に関する事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成26年5月29日	宇都宮地方法務局	評議員、理事及び代表理事の変更	平成26年6月11日
平成26年7月1日	宇都宮地方法務局	理事及び代表理事の変更	平成26年7月2日
平成26年11月22日	宇都宮地方法務局	目的変更	平成26年12月3日

5. 栃木県知事への届出等に関する事項

届出等年月日	事 項	備 考
平成 26 年 6 月 24 日	変更届（評議員、理事及び代表理事の変更）	県文書学事課
平成 26 年 6 月 25 日	定期提出書類（事業報告等）	県文書学事課
平成 26 年 7 月 18 日	変更届（理事の変更）	県文書学事課
平成 26 年 10 月 9 日	変更届（公益目的事業の変更）	県文書学事課
平成 27 年 3 月 25 日	変更届（公益目的事業の変更）	県文書学事課
平成 27 年 3 月 27 日	定期提出書類（事業計画書等）	県文書学事課

6. 契約に関する事項

契約年月日	契約の相手方	契 約 の 概 要
平成 26 年 4 月 1 日	那須塩原市 農務畜産課	農地流動化推進事業、農業経営改善支援活動事業、農業者海外研修派遣事業、認定農業者の会助成事業、アグリ体験事業（ふれあい農園開設・管理業務）委託契約、青木ふるさと物産センター管理事業
平成 26 年 4 月 1 日	那須塩原市 生涯学習課	とちぎ明治の森記念館業務委託契約
平成 26 年 4 月 1 日	那須塩原市 道路課	道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務委託契約
平成 26 年 7 月 1 日	栃木県農業 振興公社	農地中間管理事業業務委託契約
平成 27 年 3 月 20 日	那須塩原市 農務畜産課	農業者海外研修派遣事業の変更契約

7. 評議員に関する事項（平成27年3月31日現在）

氏 名	就 任 年 月 日	備 考
阿久津 憲 二	平成 24 年 10 月 1 日 就任	那須塩原市長
川 嶋 寛	平成 24 年 10 月 1 日 就任	那須野農業協同組合代表理事組合長
二ノ宮 徹 夫	平成 24 年 10 月 1 日 就任	前那須塩原市農業委員会会長
田 代 仁	平成 24 年 10 月 1 日 就任	黒磯土地改良区事務局長
益 子 光太郎	平成 26 年 5 月 29 日 就任	前那須塩原市栃木県農業士会会長
関 谷 光 夫	平成 26 年 5 月 29 日 就任	前那須塩原市認定農業者の会会長

8. 役員に関する事項 (平成27年3月31日現在)

役 職	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
理 事 長	人 見 寛 敏	平成 26 年 7 月 1 日 就任	那須塩原市副市長
常 務 理 事	薄 井 正 行	平成 25 年 5 月 27 日 就任	(公財)那須塩原市農業公社事務局長
理 事	渡 邊 政 博	平成 26 年 5 月 29 日 就任	前那須塩原市農業指導士会会長
理 事	藤 田 輝 夫	平成 26 年 5 月 29 日 就任	那須塩原市産業観光部長
理 事	田 代 晴 久	平成 26 年 5 月 29 日 就任	那須塩原市農業委員会事務局長
理 事	寺 崎 政 徳	平成 26 年 5 月 29 日 就任	那須野農業協同組合営農部長
理 事	田 村 勝 美	平成 25 年 5 月 27 日 就任	前那須野農業協同組合黒磯営農経済センター課長
理 事	大 平 和 広	平成 25 年 5 月 27 日 就任	酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所長
監 事	江 連 有 一	平成 24 年 10 月 1 日 就任	那須野農業協同組合理事
監 事	大 島 厚 子	平成 25 年 5 月 27 日 就任	那須塩原市会計管理者

9. 職員に関する事項 (平成27年3月31日現在)

所 属 区 分	人 員	職 員 区 分				備 考
		市OB職員	農協派遣	公社職員	公社採用 臨時職員	
公 社 事 務 局	事務局長	1	1			
	係 長	2		2		
	係	6		2	2	
道 の 駅	所 長	(1)	(1)			事務局長兼務
	係	6			6	
計	15	1	2	4	8	